

鳥海ダムだより



2003.8
第5号

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所



「治水、利水は 行政の大命題」

鳥海ダム建設促進期成同盟会副会長

矢島町長 佐藤 清 圓

ヒマラヤ山脈のふところに抱かれたような標高1600mに位置するネパールアネコット郡コテン村。首都カトマンズから車で3時間さらに徒歩で4時間の位置にあり水事情は著しく悪い。穀類は麦、稲が作付けられているが反収100kgを割り込むほどの収量でしかない。水を確保するための労力は女性と子どもにかかっており多くの時間が費やされている。安全な水の確保は村民の悲願であるが日本に暮らす私たちには想像に絶するものがある。縁があって私が農業支援に関り始めたのが1973年である。水源地から10kmにわたり素堀りの側溝を日本の技術で施工した。300町歩にわたる田畑に安定した水を供給することで、稲作は1年1回の収穫だったものが2回に、収量は2倍に伸びた。また、この水を利用して野菜の大量生産が可能になり村民の増収へと結びついている。

翻って日本の水事情はどうだろうか。蛇口を

ひねれば安全、安定、安心の3要素が揃った水が約束されている。さらに田畑に供給される水さえも基盤整備が整ったところであれば、水栓を開くだけで必要量が確保される。極端に表現すれば土に触らず農業ができる時代が到来している。このような技術は一朝一夕で築き上げられたものではなく、先人先覚のたゆまぬ努力の上に成り立っている。農業に限らず土木技術もまたしかり。地域の人々の財産生命を守り安定した生活を営めるような環境づくりは行政に課せられた大命題である。ふるさとの将来を築き上げる上で、自然との共生をテーマにしたエコミュージアム構想を提唱しているが、同構想も民生の安定した基盤ができて始めて結実するものである。このような観点からも治水、利水上安全で安心した環境づくりの一日も早い実現が待たれる。

鳥海町新緑まつり

6月8日、鳥海町「健康広場」において、好天のもと、鳥海町主催の新緑まつりが開催されました。新緑まつりは、勇壮な「鳥海前ノ沢太鼓」で幕開けされた後、各種イベントが行われました。毎年恒例の百宅そば早喰い大会は男女各15名により競われ、他の出場者を引き離す好タイムで優勝が決まりました。また、今年から企画された豪華賞品が当たる「さなぶり大抽選会」が盛大に行われました。なお、当所でも会場の一角に鳥海ダムコーナーを開設し、鳥海ダムのPRを行いました。



鳥海前ノ沢太鼓で幕開け



長持ち奉納



鳥海舞踏会



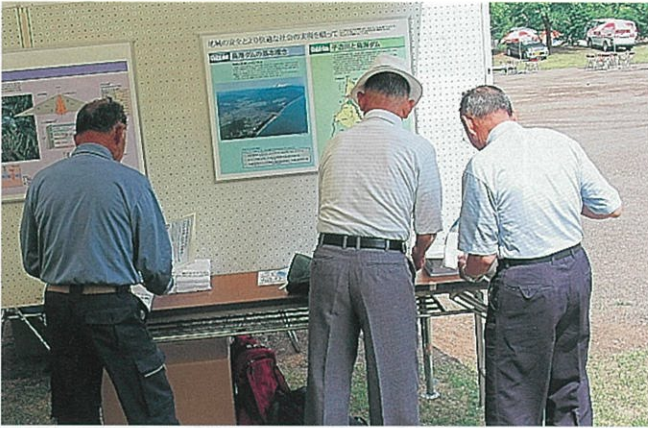
百宅そば早喰い大会



さなぶり大抽選会



● 鳥海ダムコーナー



● サッカーチャレンジゴール



● シュリンクシート



子吉川フェア

7月6日に、本荘ボートプラザアクアパル及び友水公園（せせらぎパーク）において第8回子吉川フェアが開催されました。

オープニングセレモニーでは、内越保育園による「内越元気太鼓」の演奏が行われました。元気いっぱいに演奏をする園児に、会場からは、大きな拍手がわき起こりました。開会式に引き続き、「標語・絵画」表彰式が行われました。



開 会 式



内越元気太鼓の演奏（内越保育園）



「標語・絵画」表彰式

アクアパル館内周辺においては、「パネル・写真展示コーナー」、「各市町村物産コーナー」、「フリーマーケット」、「魚のつかみどり大会」などが行われ、暑い中、多くの人々が訪れ、会場を賑わせました。

多目的ホールでは、つくってあそぼう「キーホルダー」、「押し花ハガキ&しおり体験」が行われ、こちらも、多くの子供たちで、賑わっていました。また、豪華賞品が当たる「ラッキープレゼント」では、会場に入りきれないほどの人で、大いに盛り上がりました。

各イベントの状況を紹介します。



パネル・写真展示コーナー



フリーマーケット



消防ふれあい広場



魚のつかみどり



つくってあそぼう「キーホルダー」



押し花ハガキ&しおり体験



ラッキープレゼント

鳥海ダム地域づくり懇談会

7月30日に、鳥海ダム地域づくり懇談会が開催されました。この懇談会は、鳥海ダム建設事業が、鳥海町の地域発展に貢献するため、近隣住民及び関係者が話し合い、意見交換の場として有効に活用することを目的に、鳥海町直根地区代表者の参加のもと、鳥海町主催で行われました。

今回は、岩手県にある御所ダムを視察した後、鳥海町の紫水館で、鳥海ダムについて意見を交換されました。御所ダムでは、御所ダム管理庁舎内において、北上川ダム統管理事務所より、御所ダムの周辺施設を中心に概要説明を受けた後、バスで御所ダム周辺施設を視察しました。当日は、あいにくの雨のため、車窓からの視察となりました。

視察後、紫水館に戻り、懇談会が開かれました。懇談会では、当事務所から鳥海ダムについての概要を説明後、懇談が行われました。

御所ダム周辺施設概要説明



鳥海ダム地域づくり懇談会(紫水館)



● 鳥海町直根地区代表の方々



百宅地区女性懇談会

6月25日に、鳥海町百宅「防雪センター」において、鳥海町百宅地区の女性を対象とした懇談会を開催されました。

懇談会では、鳥海ダムの概要、事業経過等を説明した後、出席者との意見交換が行われました。その中でも、「早くダム建設事業に着手してもらいたい。」という声が多く出されました。



夏期実習生紹介

7月22日から8月1日までの期間、2名の方が、当事務所において、実習されました。夏期実習を終えた2名の方から、実習を終えての感想をコメントしてもらいました。



氏名 小松 浩之
学校名 秋田工業高等専門学校
感想

今回の実習を通して学校では学ぶことのできない職場での仕事というものを身近に体験することができました。

このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。そして体験したことを今後の学校生活に生かせればと思います。



氏名 釜台 一
学校名 西目高校
感想

何も知識もないゼロの状態の仕事に任されて、いろいろと迷惑をかけてしまいましたが、周りの人に助けられ、無事に終わる事ができました。この経験を生かし、社会に出てからも頑張りたいと思います。

編集後記

今号では、鳥海ダム建設促進同盟会副会長の佐藤清圓矢島町長に寄稿していただきました。ありがとうございました。

今号は、子吉川フェアや鳥海ダム地域づくり懇談会を中心に紹介しました。7月下旬には、当事務所に、2名の夏期実習生が来て、職場内も活気づきました。

今号で紹介したイベントなどは、当所のホームページでも紹介していますので、是非アクセスしてください。ダムだより共々よろしく申し上げます。

担当 補償調整課

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0001 秋田県本荘市出戸町字給人町13-4 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp